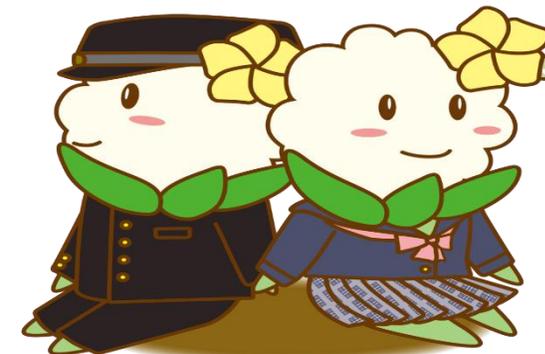


応援メッセージ



ひらの青春生活応援事業PR ひらちゃん

これから、「ひらの青春生活応援事業」にかかわってくださっている方からの応援メッセージをご紹介します。
みなさんそれぞれに、感じ取っていただければ、幸いです。



高校生への
個別支援

一般社団法人 officeドーナツ

平野区役所:保健福祉課

ひらの青春生活応援事業

～ 高校生の可能性は ひらのの 希望になる ～

【 民生委員児童委員さんからの声 1 】

この事業にかかわって良かったと思う2つの事案を紹介されました。

☆ Aさんの例

- ・ 自宅を出て、知り合い宅で生活をしており、アルバイトを続けながら、通学していました。
- ・ ある時、地域の役員さんが、今後のことの相談を受けたので、この事業へつながりました。
- ・ スタッフにしっかりと話をきいてもらい、あらためて自分の気持ちに気づくことができたとのこと。
- ・ 相談後は、話し方や声のトーンも明るく感じられるようになったとのこと。

☆ Bさんの例

- ・ ひきこもりが続いていましたが、とある縁で、この事業につながりました。
- ・ あるこども食堂へ通いはじめたところ、いつの間にか「食べる」だけでなく、ボランティアとしても参加するようになり、後に、より責任ある役割も任せられるようになりました。
- ・ これがきっかけとなり、ある団体主催の行事に参加し、こどもたちのリーダーとなったり、ボランティアのまとめ役にもなっています。
- ・ 自信が芽生えているように感じます。

ひらの青春生活応援事業

～ 高校生の可能性は ひらのの 希望になる ～

【 民生委員児童委員さんからの声 2 】

実際の経験談とこの事業の周知にご協力いただいています。

☆ 実際の支援の場に同席した時に・・・

- ・ある生徒さんとこの事業のスタッフさんの面談に同席したことがあります。
- ・「相談」といっても、相談者は自分の気持ちを話すことがむづかしく、気持ちを引き出すことも、最初のうちは、なかなかハードルが高いと思います。
- ・しかし、この事業のスタッフさんは、根気良く相談者と向き合い、対応を続けていきます。
- ・その様子は、素人の自分たちには、考えも及ばない「奥義」のようだとも話されています。そうして、信頼関係を積み上げていき、具体的な支援につなげていくことがわかりました。

☆ 事業の周知のご協力

- ・この事業の連携校の同窓会の役員の方が、校長先生や教頭先生とも会う機会があります。
- ・また、当該高校のスクールカウンセラーやこの事業のスタッフとも連絡をとりあう関係もあります。
- ・団体の会合や地域の行事などの場面で、この事業の紹介をしていただいています。

ひらの青春生活応援事業

～ 高校生の可能性は ひらのの 希望になる ～

【 大学の関係者の方から 】

高校生支援の取り組みの重要性について、アドバイスをいただきました。

☆ 高校生活では、ささいなことから深刻なものまで、困りごとも多いのではないかと

- ・ 学校を継続することが困難な知り合いがいる場合に、この事業につなげてみたい。
- ・ 経験のあるスタッフが「同行支援」してくれると、とても心強い。
- ・ 生活習慣や人間関係などの悩みを聞いてくれるとありがたい。
- ・ 社会で必要な制度などをわかりやすく教えてくれると助かると思う。
- ・ こうした事業があらゆるところで実現されるとよいと思う。

☆ 高校生(に限りません)は、ひとりひとり異なる境遇におかれている

- ・ 語りにくいことも、本人が語りだすまで「待つ」という対応に敬服。
- ・ お互いの信頼関係が重要
- ・ 「普通」にあると思っていたものが、現実にそうではないこともあったりする。
- ・ 学生の段階で福祉的支援の必要性を学習しておくことは重要である。